


令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	あさの たかお	
氏名	浅野 隆夫	
所属・役職	札幌市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト担当部長 (兼務) 札幌市教育委員会中央図書館調整担当部長	
活動拠点	<p>「札幌市電子図書館」開設(2014年)、課題解決型図書館「札幌市図書・情報館」立ち上げ(2018年)、ポップカルチャーへの取り組み(現在)など、さまざまな「垣根」を壊しながら、図書館サービスを拡張し、新しい図書館像を司書と作ってきました。</p>	
略歴	<p>■札幌市役所の地域情報化セクションを経て、2010年に図書館へ異動。2014年に「札幌市電子図書館」を立ち上げ、札幌・北海道の出版社で構成される「北海道デジタル出版推進協会(HOPPA)」の結成にも関わる。</p> <p>■2018年にはコンセプトづくりから手がけた課題解決型図書館「札幌市図書・情報館」の初代館長となる。 (同館は「はたらくをらくにする」をコンセプトに、働く人々に的を絞り、最新情報提供のために本の貸出を行わない、ひとに寄りそうための「テーマ別本棚」などのユニークな運営を行い、これまで図書館に来なかった利用者を獲得、4万冊の小さな図書館でありながら年間100万人を超える利用を積み上げた。 2019年には、これらの実績と図書館員の育成姿勢が評価され、Library of the Year2019の大賞とオーディエンス賞をダブル受賞した。)</p> <p>■2023年からは「(仮称)こども本の森さっぽろ」やマンガ複合施設など、まったく新しいコンセプトの図書館検討を行っている。</p> <p>■2016年に司書資格取得、ビジネスレファレンスに強い司書を養成する「ビジネスライブラリアン講習会」の講師を続けるほか、2021年からは北海道武蔵女子短期大学で司書過程コースの講師も務める。</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>これまでの図書館のいいところを残しながら、新しいサービス導入を一緒に考えていきましょう。</p> <p>① 電子図書館の導入と展開 ② ICTを活用した魅力的な図書館空間づくり ③ 課題解決型ライブラリー(ビジネスや暮らしの支援など)の計画設計について経験からお話できます。講演でも、会議でもお受けしております。</p>	
専門分野	デジタルアーカイブ/図書館	
自治体向けメッセージ	<p>「せっかく新しい図書館を作るのだから、思い切って新規性を取り入れたい」 「図書館の建物はそのままに、イメージを大きく変えたい」</p>	

		<p>「電子図書館を導入してみたい」「再開発の目玉になれる図書館とは？」 そんな業務に携わることになった自治体の職員の方々に並走します。</p> <p>今の時代に最適化した図書館とは何かを考え、図書館員が生き生きと働き、利用者も満足できる図書館づくりに取り組んでいきましょう。</p>
	関連サイト	<p>札幌市電子図書館 https://www.d-library.jp/sapporolib/g0101/top/ 札幌市図書・情報館 PR ページ https://www.sapporo-community-plaza.jp/library.html</p>
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>【業務】 「札幌市図書館電算システム再構築」(2014) 「札幌市電子図書館」開設(2014) 「札幌市図書・情報館」開設(2018)</p> <p>【これまでの主なアドバイザー支援先】 神戸市、広島市、長岡市など</p> <p>【執筆】 国立国会図書館発行 カレントアウェアネス No.340 2019年6月20日 CA1953 - 「常識のカバーをはずそう」 ～札幌市図書・情報館が変えたこと、変えなかったこと～ https://current.ndl.go.jp/ca1953</p>
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	